

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定率法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式で処理している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,200,000			3,200,000
投資有価証券	60,127,490		43,039	60,084,451
小計	63,327,490	0	43,039	63,284,451
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	63,327,490	0	43,039	63,284,451

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの 充当額)	(うち一般正味 財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,200,000		3,200,000	0
投資有価証券	60,084,451	39,600,000	20,484,451	0
小計	63,284,451	39,600,000	23,684,451	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	63,284,451	39,600,000	23,684,451	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	期末残高
什器備品 ノートパソコン	124,200	80,212	43,988
合計	124,200	80,212	43,988

